

西東京市平和の日メッセージ

先の大戦から、77年の歳月が経とうとしています。

昭和20年4月12日、西東京市では、米軍による空襲を受け、田無駅前、所沢街道北原、保谷町などに多くの爆弾が投下され、130人余りの方々が、また田無駅周辺だけで約50人の方々の尊い命が犠牲になりました。特に、現在の田無駅北口のアスタビル付近にありました大型の防空壕では、約30人の方々が爆風で生き埋めとなってお亡くなりになりました。

西東京市は、この戦争による惨劇を記憶にとどめ、平和の大切さを伝えるために、市内で戦争の被害が特に大きかった4月12日を「西東京市平和の日」と決めました。これまで、「西東京市平和推進に関する条例」や「非核・平和都市宣言」のもと、世界の恒久平和を願う市民の精神に基づき、平和施策を市民の皆様とともに推進して参りました。毎年、「西東京市平和の日」の式典・イベントをはじめ、広島平和記念式典に市民の皆様と参列する「広島平和の旅」など、様々な取組を市民の皆様との協働で行っています。

今回の西東京市平和の日は、このアスタセンターコートにおいて、戦時中の市内の様子を紹介するパネルや、市民の方々の戦争体験記などを展示・ご紹介しています。ロシアによるウクライナへの侵攻によって、人々の平和に生きる権利を著しく脅かされている状況を目の当たりにする今だからこそ、先の大戦の惨劇を風化させない取組が重要だと考えています。

結びとなりますが、今回の西東京市平和の日の取組にご尽力いただきました全ての関係者の皆様に心から感謝と敬意を表しますとともに、世界の恒久平和の実現に取り組んで参りますこととお約束し、私からのメッセージとさせていただきます。

令和4年4月12日

西東京市長 池澤 隆史